

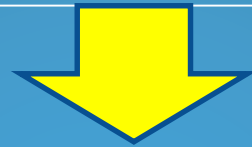
「ろう教育の現場から」

2018.4. 25

岩手県立盛岡聴覚支援学校

校長 石川 敬

私が聾学校の教員になった
1984年(昭和59年)今から34年前



口話教育(発音と読話)

手話を使うと、先輩に注意された

○手話を使わない理由は

①手話は言語でない(手真似)

②社会で手話は使われていない

現在は...



- ①手話が言語と認められ
学習指導要領にも手話について
記載される
- ②手話の社会への広まり
若い先生方は、手話をどんどん
学んでいる

新しい学習指導要領

キーワードは

「主体的、対話的で、深い学び」



軽度の難聴の子どもも含め

手話による言語活動は、日本語の
獲得、思考力を伸ばす上で重要

課題



<教職員の手話の習得>

- ①大学の教員養成課程での位置づけ
- ②ろう学校内での教員研修のあり方
- ③聴覚障害教員を含めた人事異動の問題



幼稚部の子ども達と手話で会話する高等部の生徒
(岩手県立盛岡聴覚支援学校)



聴覚障害教員による公開授業
(岩手県立一関清明支援学校・聴覚部門小学部)